

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和元（2019）年度

施設名	栃木県総合運動公園
施設所管課	県土整備部都市整備課
指定管理者	公益財団法人栃木県民公園福祉協会（法人番号 9060005007605）
指定期間	平成 27（2015）年 4 月 1 日～令和 2（2020）年 3 月 31 日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市西川田 4-1-1
施設の概要	① 指定管理者による管理面積 40.7ha（とちのきファミリーランドを除く。） ② 主要な施設 陸上競技場、武道館、野球場、軟式野球場、水泳場、テニスコート、サッカー・ラグビー場、相撲場、トレーニングセンター、合宿所、水生植物園、中央広場 等
業務内容	① 公園の維持管理に関する業務 ② 有料公園施設の利用の許可に関する業務 ③ 公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和元（2019）年度

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	185,143	指定管理 ※2	事業費	0
	利用料金収入	0		管理運営費	130,620
	その他収入※1	9,264		人件費	55,111
	合計	194,407		その他支出※1	9,217
			合計	194,948	
指定管理業務収支差額①			▲541		
自主事業			81,056		
自主事業収支差額②			▲230		
収支差額（①+②）			▲771		
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
・利息 1千円			・租税公課費 9,217千円		
・雑収入 9,263千円					

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

平成 30（2018）年度（前年度）

（千円）

収入			支出		
指定管理 ※2	指定管理料	154,103	指定管理 ※2	事業費	0
	利用料金収入	0		管理運営費	102,855
	その他収入※1	7,178		人件費	50,369
	合計	161,281		その他支出※1	7,024
			合計	160,248	
指定管理業務収支差額①			1,033		
自主事業			75,652		
自主事業収支差額②			5,498		
収支差額（①+②）			6,531		
備考（※1 その他収入の主なものを記載）			備考（※1 その他支出の主なものを記載）		
・利息 1千円			・租税公課費 7,024千円		
・雑収入 7,177千円					

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

### 3 利用状況

	平成 30 (2018) 年度 (前年度)	令和元 (2019) 年度
公園利用者	510,227人	578,346人

施設名 (使用料施設)	平成 30 (2018) 年度 (前年度)	令和元 (2019) 年度
陸上競技場 (団体)	0人※1	43,947人
陸上競技場 (個人)	0人※1	9,024人
武道館 (団体)	—	14,185人
武道館 (個人)	—	1,179人
野球場	0人※1	34,130人
軟式野球場	28,676人	22,923人
ウォームアップ場	7,555人	3,390人
サッカー場	8,325人	9,545人
ラグビー場	2,165人	2,852人
テニスコート	52,522人	25,129人
水泳場 (個人)	1,278人	918人
合宿所	515人	416人
トレーニングセンター (団体)	24,490人	20,710人
トレーニングセンター (個人)	23,798人	17,507人
相撲場 (団体)	710人	694人
合計	150,034人	206,549人

※1 改修工事のため

### 4 サービス向上に向けた取組

<p>(1) 利用者満足度を高める管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開園前と開園中の巡回清掃を強化し、各施設、トイレ等の清潔感を高めた。</li> <li>・さくらまつりのほか、サッカー、バスケット、ピラティス教室を開催した。</li> <li>・ホームページに運動施設の予約状況を掲載し、利用しやすい環境を整えた。</li> <li>・サッカー・ラグビー場の目地部が管理開始時から低かったため、重点的に覆土を実施し芝生の育成促進を図った。</li> <li>・本球場の供用開始前に、土の流出防止のマット敷設や出入口シャッター部への記号案内板の設置を行い、利用者の利便を図った。</li> <li>・指定管理が開始される以前から武道館の管理作業を行い、供用開始に合わせて全館清掃を実施した。</li> <li>・感染症対策のため、アルコールスプレーやハンドソープ、便座除菌剤を設置し、マスクの着用や咳エチケットを促す看板を設置した。</li> </ul> <p>(2) 地域活動拠点として地域とともに生きる公園づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園利用者からの要望や地域との連携などを協議する機関として「総合運動公園連絡協議会」を開催し、地域に根ざした公園づくりと地域との連携を図った。</li> <li>・地域住民の雇用や地元業者の活用を図った。</li> <li>・地域のボランティアによる落ち葉さらいなど、地域住民と密着した公園管理を行った。</li> <li>・地域住民との対話の機会を設け、管理運営に活かした。</li> <li>・地域の盆踊りが開催される際に、駐車場の使用に関して自治会と連携を図り開催に協力した。</li> <li>・特別支援学校宇都宮青葉高等学校の生徒のインターンシップ受け入れを行った。</li> </ul> <p>(3) 効率的・安定性のある管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場警備員の稼働日数及び人員を増やし、利用者が安全かつ速やかに駐車できるよう努めた。</li> <li>・公園利用者の安全を第一に考え、危険性のある箇所を早期発見・早期改善を実践した。</li> <li>・ご意見箱、電話、メール等により利用者の意見を受け付けている。</li> <li>・スポーツ教室開催時にアンケートを実施した。</li> <li>・苦情内容等を全従業員に周知・徹底し、原因究明と再発防止に向けて取り組んだ。</li> <li>・公園管理運営士など公園管理運営技術に関する有資格者を配置した。</li> <li>・災害発生時のマニュアルを作成し、来園者の避難誘導等安全確保に努めた。</li> <li>・巡回による安全確保と防犯を徹底した。</li> <li>・ホームページ、マスコミへの情報提供、各種パンフレット等によりPR、利用促進を図った。</li> <li>・公園内の掲示板により、常に旬の情報を提供した。</li> <li>・大型の作業機械を導入し、効率的に管理作業を行った。</li> </ul>
---

<p>(4) 施設利用提供の実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通じて管理事務所を開所している。</li> <li>・駐車場開閉時間に合わせ、開園時間を延長している。</li> <li>・大会利用時には、利用者の希望に合わせて、利用時間前の利用等で利便性を図った。</li> <li>・大会利用時の設備・機材トラブルにも迅速に対応できるよう人員を配置した。</li> </ul>
---

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理事務所等に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収</li> </ul>				
回収件数 78件				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	52.2%	37.3%	9.0%	1.5%
公園の管理状況はいかがでしたか	61.2%	34.3%	4.5%	0.0%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	53.6%	39.2%	5.8%	1.4%
スタッフの対応はいかがでしたか	76.8%	21.8%	0.0%	1.4%
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページで意見・要望を受付</li> <li>・総合運動公園連絡協議会を開催して意見・要望を聞き取り</li> <li>・各種スポーツ競技団体からの意見・要望を聞き取り</li> </ul>				
主な利用者意見（苦情・要望）		対 応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい駐車場（昔の陸上競技場のところ）に自動販売機（ジュース）があるといい。</li> <li>・ウォーキングコースの1箇所だけ屋根のついているベンチ付近に自転車を置いている人達がいる。置いているのか。</li> <li>・ウォーキングコース内側のアスファルト舗装路の自転車通行が多い。サッカー開催時は選手や応援者が多数いる場所で危険と思われるが、本当に自転車通行OKなのか。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1.6に設置済</li> <li>・駐輪場への移動をお願いしていく。</li> <li>・ウォーキングコースには自転車走行不可の看板を出しているが、アスファルト舗装路の規制はしていない。ただし、巡回中にウォーキングコースを走行しているのを見つけたときは、その都度注意している。</li> </ul>		
主な利用者意見（積極的評価）				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの対応が良かった。</li> <li>・きれいだし楽しく歩ける。人もいい人が多い。</li> </ul>				

6 指定管理者による自己評価

<p>成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動施設の予約状況や空き状況をリアルタイムで更新するようにし、利用者への情報伝達スピードを高め、利便性を向上させた。</li> <li>・大規模な大会時には、駐車場が満車となり周辺道路の混雑が著しかったが、警備員を大幅に増員したことにより、混乱の軽減を図った。</li> <li>・各種スポーツ教室を開催することにより、県民がスポーツを始めるきっかけづくりを行った。</li> <li>・大会利用時には、利用者からの希望があれば利用開始時間を早めるなど、利用時間の拡大を行い、利便性を高めた。</li> <li>・一括契約、一括購入により経費節減を図った。</li> <li>・高木の樹形に合わせた剪定、松食い虫防除の定期的な薬剤注入など、自然環境の保護・保全を図った管理を行った。</li> <li>・作業機械の取扱い講習、普通救命講習等を従業員に受講させ、スキルアップを図った。</li> <li>・公園内の巡回や施設の日常点検を行い、危険箇所、不具合箇所を早期発見し、早期対応している。</li> <li>・総合スポーツゾーン整備工事に伴い発注者・請負業者と協議し、案内看板設置・注意喚起を行い利用者の安全確保に努めた。</li> <li>・総合スポーツゾーン整備工事に伴う施設の増減に対応した点検等の変更契約を速やかに行なった。</li> </ul>
--

<p>スポーツの振興に資する管理運営に向けた取組 ※指定管理者が独自に設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設管理士やグラウンドキーパーを配置し、各運動施設の適正管理を行い、選手と観客が堪能できる環境づくりを進めた。</li> <li>・スポーツ教室の開催や各種イベントを通して、スポーツを始めるきっかけ作りやスポーツの楽しさを体験してもらうとともに、地元プロスポーツチームの広報・宣伝に協力した。</li> <li>・テニス教室、バスケットボール教室など運動公園の特性を活かした各種スポーツ教室を開催し、スポーツの振興を図る取り組みを行った。</li> <li>・年配の方や運動が苦手な方にも参加してもらえるピラティス教室を実施し、多くの方に参加してもらえた。</li> </ul>
<p>今後改善・工夫したい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合スポーツゾーン整備工事時は、県と連携を図り、利用者の利便性と安全の確保に努めたい。</li> </ul>

7 所管課室による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	運動施設について、使用調整会議にて作成される年間利用計画表に沿って貸出業務を実施し、大会以外の一般利用者への配慮も行っている。	C
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	所定の手続に則り、適切な許可が行われている。	C
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか	管理事務所等での車椅子の貸出しやAEDの常備により、高齢者等に対する配慮が図られた。	C
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	おおむね実施されていた。	C
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	公園利用者数は総合スポーツゾーン整備計画による施設休止や新型コロナウイルスの影響により目的は達成できなかったものの、新武道館の供用開始については、県と協議して取り組むことで大きなトラブルもなくスタートできた。	B
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	施設の管理状況、スタッフの対応状況について、ご意見表での評価が向上した。	B
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	通常の公園施設・維持管理等に関する意見・苦情対応のほか、総合スポーツゾーン整備に関する問合せ対応も行う必要があったが、おおむね適切に対応していた。	C
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	おおむね適切に対応していた。	C
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	総合スポーツゾーン整備により管理施設が増えていく中で、案内・注意看板等の設置により公園利用者への周知に努めた。	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	当該業務をおおむね適正に遂行できる組織となっている。	C
	②収支は適正でバランスがとれたものか	おおむね適正である。	C

	③経費の縮減に取り組まれてきたか	多用途に従事するスタッフを配置することにより経費縮減を行った。	C
	④人材育成は適切に実施されているか	技術向上のため、事業計画に基づき研修を実施した。	C
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	緊急時連絡体制により、関係部署との連絡体制は確保できている。また、事故・異常気象時の対応も適切に対応・報告がなされていた。	C
	⑥県や関係機関との連携体制は確保されているか	県との緊急時連絡体制のほか、関係機関（警察等）との連絡体制、総合スポーツゾーン整備安全協議会との連絡体制等、適切に確保されている。	C
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護をしている。	C
	②情報公開は適切になされているか	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用をしている。	C
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	自己評価の改善がみられた。	C
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	運動教室やさくらまつり等のイベントを計画どおり実施した。	C
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	県内プロチーム（栃木SCや栃木ブルックス）によるスポーツ教室を実施した。	C
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	来園者・近隣住民の生活環境に配慮しながら、おおむね適切に作業を実施した。	C
	⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	来園者に対するマスク着用や手洗い・消毒の呼びかけを行い、三密防止や消毒の徹底に励んだ。	C
総合的な評価			
<p>全般的におおむね良好な管理状況である。運動施設の予約状況等の迅速な更新による利用者への利便性の向上や、各種スポーツ教室等の開催により、新たなスポーツの体験や健康増進に貢献した。スタッフの対応や園内の管理状況についても積極的評価が増加しており、各施設大きな混乱もなかった点が評価できる。今後とも施設の安全な利用と利便性確保を図るため、各関係者との連携を密にし、管理水準の維持向上を図るとともにさらなる安全管理の徹底に努めてほしい。</p>			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して極めて優れた取組となっている。
- B：事業計画に対して優れた取組となっている。
- C：事業計画どおりの取組となっている。
- D：事業計画に対して劣る取組となっている。
- E：事業計画に対して極めて劣る取組となっている。